

# 岡山 いのちと健康

2010年12月13日  
NO. 29  
岡山県労災職業病・  
過労死連絡センター  
岡山市北区春日町5-6  
Tel. 086-221-0133



写真左：講演する林  
医師、写真下：熱心  
に聞き入る参加者



## 心の病気と職場復帰 支援の実際を学ぶ

メンタルヘルス研修講座に73人

12月11日、県  
労災職業病過労死連  
絡センター総会終了  
後に開かれたメンタ  
ルヘルス研修講座に  
は73人が参加。

うつ病3大疾患に  
うつ病など精神疾

患が職場などに深刻  
に広がり、日本精神  
医学会などががん、  
心臓病と並ぶ「3大  
疾患」「国民病」と  
位置づけ「こころの  
健康推進を基本政策  
に」と提唱、運動が  
進められています。

県過労死セン  
ター総会後に

心の病気の理解の  
ために

研修講座は、労働  
組合、事業者などが  
その対応を十分す  
められるよう開か  
れ、初めに林精神科  
神経科病院林英樹院  
長が「心の病気の理  
解のために」と題して  
講演。

うつ病、心身症な  
ど精神疾患の内容、  
「ストレスの決定因  
子の公式」などわか  
り易く説明。参加者  
も自分の性格の特徴  
を知ることができ  
「エコグラム」もし  
理解を深めました。

労働組合の役割と  
職場復帰支援

続いて職場復帰支  
援を実践している産  
業カウンセラー大槻  
久美子氏が「労働組  
合の役割と職場復帰  
支援」を講演。職場

復帰支援プログラムの作成、ならし出勤可能判断基準、完全復帰判断基準の設定、復帰後のフォローアップ、職場環境の見直しなどの配慮すべき点や労働組合の役割を説明しました。

参加者からは「病名は聞いていたけど、内容は知らなかったがよくわかった」「身近にいる人にも役に立ちそう」との感想が寄せられました。

## デイリーセントワーク 被災者救済などの方針

県過労  
死セン  
ター  
総会

11日午前、県労  
災職業病・過労死連  
絡センター総会が開  
かれました。代表委  
員の藤田ひだまりの  
里病院院長が「働く  
人のいのちと健康は  
深刻になっていま

す。とりくみの強化  
を図りましょう」と  
挨拶。4人が討論  
し、この間の活動の  
まとめとデイリーセ  
ン・ワーク（働きが  
いのある人間らしい  
仕事）の実現にむけ

た運動、過労死、じ  
ん肺など労災被災者  
救済、メンタルヘル  
スの取り組みの強化  
などの方針と来年度  
予算、役員を決定し  
ました。（役員名  
簿、裏面）

# 総会の発言



## トンネルじん肺基金 制度の創設を

建交労本家県本部  
委員長（写真右）  
じん肺裁判で連勝  
し、国の責任も認め  
させた。今後は「ト  
ンネルじん肺基金制  
度」を国と企業で作  
り、裁判によらずに  
解決することを求め  
る署名と未だ裁判を  
続けるゼネコン宛署  
名の協力を訴える。

## 高梁市職員森宏之過 労死訴訟への支援を

自治労連県本部清  
水書記長（写真右  
下）  
高梁市の学芸

員で備中松山城の保  
存・復元整備など文  
化財保護業務を1人  
で担い持ち帰り残業  
などでも膜下出血  
を発症死亡。基金は  
「サービスマン」を  
認めずその取消訴訟  
中。支援を訴える。



## 教職員の長時間労働 の改善めざして



高教組和田副委員長  
（写真左上）  
時間  
外労働時間調査で  
は、過労死黄信号ラ  
インが約半数、赤信  
号ライン1割。病氣  
休職者は122人で  
精神性疾患77人。  
衛生委員会の活性  
化、施設設備の改善  
や長時間労働解消の  
勤務割振りが広がる  
など、改善のたたか  
いがすすんでいる。



## アスベスト相談、労 災認定闘争を進める

重工産業労組玉野  
支部前川委員長（写  
真右）  
三井造船関  
連中心にアズベスト  
被害の相談は継続し  
てしている、労災認  
定も取組んでいる。

### 県過労死センター11年度役員体制

#### 代表委員

- 清水善朗（過労死弁護団・弁護士）
- 山本勝敏（過労死弁護団・弁護士）
- 藤田文博（岡山ひだまりの里病院院長）
- 花田雅行（県労会議議長）
- 中上裕章（岡山過労死を考える家族の会）

#### 事務局長 藤田弘赴（県労会議常任幹事）

#### 事務局次長 小林忠（県交労県本部副委員長）

谷本 守（地域労組書記次長）

米田信敏（県民医連事務局員）

#### 運営委員 13名、会計監査 1名

# 労災事故発生機種 の全入替を実現

衛生委員  
会開  
催の  
生協  
労組

毎月安衛委員会開催  
生協労組は中央安  
全衛生委員会を毎月  
各店舗で開催、その  
前に安全パトロール  
を実施しています。

作業マニュアルで  
は荷物を持ち運ぶ個  
数を2個としてい  
るが実態にあつてない  
ことの検討を要求。

## 労災事故発生機種 の安全装置付入替実現

精肉部門で使用す  
るミンチチョッパー  
に手を巻き込まれた  
事故の緊急対策会議  
を開き、「人間はミ

スを犯す存在である  
ということ为前提  
に、それでも再発を  
防止するためには、  
“上皿を外せば、自  
動的に電源が落ちる  
などの安全装置を備  
えた機械に他店舗の  
ものも含め、一刻も  
早くすべて入れ替え  
るべきだ」と主張。  
全ての機械の入替え  
を実現させました。

## 作業マニュアル 検討を要求

